



アコースティックバンド「テノヒラ」のボーカル 愛南町出身の kiku さんがつづるふるさとエッセイ

## — あいなん音故地新 —

### あなたは私の灯

私にとって最後の祖母が亡くなった。会うといつも抱きしめてくれる力強く優しい祖母だった。このコラムも楽しみにしてくれとった。テノヒラkikuの一番のファンだった。鍼灸院にも何回も足を運んでくれた。いつだって応援してくれた。

20代の頃、父方の祖父が亡くなったとき仲の良かった友人が、別れが辛いから物心つく前に祖父母が亡くなってよかった、と言った。そういう考えもあるんか、と思った。けど、私はやっぱり祖父母と過ごせてよかった。時間は有限やけど受け取ったものは無限。別れは辛いけど、記憶は永遠。私の中に祖母がくれた温かい記憶がこれから私が落ち込んだとき躓いたとき、苦しいときに私を抱きしめてくれるやろう。"あんたはばあちゃんの灯り。"そう言ってくれた祖母。空からでも私を見つけやすいように、輝いていようと思う。そのために私は限りあるこの命を、灯火を、ゆっくりと灯しながら自分らしく光っていようと思う。

おばあちゃん、ありがとう。大好き。おばあちゃんの孫でよかった。  
大好き、大好きよ。 (テノヒラkiku)



## 本日！海日和!! vol.143 「瞳の中に見える虹 Part 1」

10月10日は、目の愛護デーなので、10月号は、魚の目に関する話題を探すことが多い。

以前、愛南町の方に、「今までのコラムの中で、魚の目の形についての記事が一番印象に残っています。」と話していただいた。

私も魚の目は、いろいろな形があって面白いなと思い、目のアップの写真を撮りためてきた。煮魚や焼き魚を食べたとき、白いボールのような目玉（水晶体）に気が付いた人も多いだろう。白くなったのは熱を加えたため、生きているときは水晶玉のように透明で美しい。

撮影した目の写真を見ていると、おもしろい現象が起こっていることに気が付いた。海中は薄暗いため、



【キリンミノの瞳】

写真を撮る場合は、フラッシュを光らせる。目の写真を撮影するとき、運がよければ、フラッシュの光が水晶体で屈折して、瞳の中に虹が見える。時に、オーロラのように見えたり、星々のように見えたりもする。

魚の種類やフラッシュの当たり具合によって、見え方が異なるので面白い。次号でも瞳の中に見える虹を紹介したい。

(撮影地：瀬の浜)

愛南サンゴを守る会 西尾知照 ともてる